

乙事諏訪神社から 小六ウォーキング

乙事諏訪神社から 稗の底ウォーキング



乙事諏訪神社 (重要文化)



ウォーキングをしている地元の人に会う。歩くのに良い道を探ると、「この辺りはどこを歩いても良いよ」と言われた。全く同感。山並を見ながらの田園風景は宝物。

富士見で北アルプスがここほど完璧に見える所を知らない。守屋山から入笠山にかけての低い山並みもいい

1639年、小六新田が開墾された時に、氏神として祀られた。神殿は1837年に、棟梁の白鳥弥四郎により建立された。若宮の八幡社も弥四郎が棟梁を勤めた。

広がる農耕地の先に乙事の家並みを見ながら進む。乙事は大きな集落だ。

小六の小ぢんまりとした集落は、特に何があるという訳ではないが、どこか懐かしい鄙びた田舎の良さや親しみを感じる。

武田の家臣の岡田小六はこの地に住み、諏訪側の動きを偵察した。この石を目印にやってくる武田の使者に、その情報を伝えていた。小六村の村名はこの小六に由来する。

- 小六コース (4Km 60分)
- 稗の底自然探索路 (2.5Km 60分)
- 滝の沢溜池コース (2Km 30分)
- 注目 眺望 樹木 花 紅葉

林の中の、沢沿いの、富士見一番の散策路。春は一輪草、ハシリドコロが咲

林の中に入り、橋をくぐり、山の中の一本道を登る。

林を出ると開放的な風景が迎えてくれる。

東出口からの湧水は二分され、乙事と小六の田を潤す。



乙事の風景。右端の森が乙事諏訪神



中出口